

# 知っ得情報

みなさん、明けましておめでとうございます!お車の調子はいかがですか?  
本年もクルマに関する耳寄りな情報を発信していきますので、どうぞよろしく願います。

## クルマのトラブル第1位!



さて、冬といえば寒さで身体が縮こまり、どうしても動きが鈍くなってしまいますよね。クルマも同じように、気温の低下によってエンジンやバッテリーが本来の性能を發揮しにくい状態になっています。特に気温変化の影響を受けやすいバッテリーは、一般的に外気温が0℃前後になると、常温時(20~25℃)と比較して、性能が2割程度落ち込むと言われています。このため、冷え込みが厳しくなる冬場の朝一番のエンジン始動時に、バッテリートラブルに遭う確率が高くなっているようです。夏場のエアコン使用などによって酷使されたバッテリーが、気温の影響で本来の性能を發揮できないとすれば、至極当然の結果でしょうか。

そこで、そんなトラブルに遭わないためにも、こういった点に注意したらいいのでしょうか。

- ここ2~3年、バッテリーを交換していない。
- いつもとエンジンのかかり方が違う。
- パワーウィンドウの上がり方が遅くなった。

上記のいずれかひとつでも当てはまるようであれば、整備工場などでバッテリーチェックを行ってください。こうしたバッテリーからのサインを見逃さないことが、未然にトラブ

ルを防ぐ有効なポイントとなるでしょう。

また、他にも最近多く発生しているのが、キーを携帯しているだけでドアロックやエンジン始動ができる電子キータイプのトラブルです。

- バッテリーを交換したばかりなのにエンジンがかからない。
- 電子キーを車内に残したままドアを閉めたら、勝手にロックがかかり、インロックしてしまった。(セルフスタンドで給油する時など…)

このトラブルに共通する原因は、電子キーに内蔵されているボタン電池の寿命です。このタイプのボタン電池の寿命は1~2年と言われているので、最近、キーの反応が鈍いと感じたら注意が必要です。こちらのトラブルも、こうしたサインを見逃さないことがポイントになります。

いかがでしたか。あっ、そういえば…と身に覚えのある方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

JA豊橋 自動車課 自動車整備工場(本店敷地内)

TEL (0532) 25-3557 担当: 安藤